

景観まちづくりのアイデア

小学校区を越えた活動

江島地区は白子と愛宕という2つの小学校区に分かれており、コミュニティ活動が各小学校別に行われています。そのため、江島地区としての一体感がなくなっています。2つの小学校区の連携を強めることが重要であり、校区を越えた江島地区全体でのまちづくりの活動を進めていきます。



白子地区との協力

白子地区と江島地区は、異なる文化を持ちつつも伊勢街道沿いに一体的な町並みを形成してきた歴史があります。そこで2つの地区が協力し、住民主体のまちづくり活動を進めていきます。



歴史を伝える樹木の保全

紀州藩と小笠原領地境界の榎や松並木など、江島地区の歴史を伝える貴重な樹木が失われるために、これらを景観重要樹木として指定することで、将来にわたって保全することが可能になります。



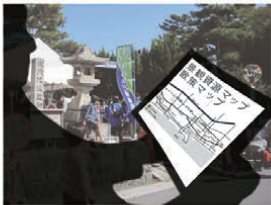
江島海岸の清掃活動

江島海岸では定期的な清掃活動が行われておらず、打ち上げられたゴミが散見されます。管理者へ清掃の要請を出しつつ、市民有志で江島海岸の清掃をしていきます。



賑わいを利用

朝市や祭りなどの人々が集まる行事で、江島地区のまちづくり活動を紹介することで活動の輪を広げていきます。



景観まちづくりによる将来のまちのイメージの検討

1) 松並木のある道路の場合



- 江島地区の象徴的な緑である松並木は歴史的にも重要である
- 道路拡幅や天災で本数が減ってきた
- 松が歩道上にあるため、歩きにくい

ビフォー（現状）



アフター（提案）

- 松並木を景観重要樹木に指定して保存する
- 松並木を延長して松の植栽をする
- 松並木沿いの歩行者空間の整備をする

2) 江島海岸の砂浜の場合



- 江島海岸の砂浜は消波ブロックがあるため、散歩する人は少ない
- 砂浜の消波ブロック上に一定間隔で打ち上げられたゴミが目立つ

ビフォー（現状）



アフター（提案）

- 管理者に清掃の要望を申請する
- 範囲を決めて市民有志で清掃活動を行う
- ゴミ回収の面で市の協力が必要となる

鈴鹿市江島地区の景観資源マップ

はじめに

江島地区の景観資源マップは白子公民館と三重大学都市計画研究室の共同研究「海・街道・史跡を活かしたまちづくりデザイン2014」の中で7回に渡り実施された白子まちづくり講座により制作されました。

第1回まちづくり講座(2014.5.15)
・昨年度の振り返り、今年度の取り組みのガイダンス

第2回まちづくり講座(2014.6.19)
・景観資源分析地図の作成、守るべき景観のリストアップ(寺家地区・白子地区・江島地区)

第3回まちづくり講座(2014.7.23)
・まち歩き1(寺家方面)、景観資源の確認

第4回まちづくり講座(2014.8.21)
・まち歩き2(白子方面)、景観資源の確認

第5回まちづくり講座(2014.9.30)
・まち歩き3(江島方面)、景観資源の確認

第6回まちづくり講座(2014.11.26)
・景観資源マップ案の発表・修正意見の検討(寺家地区・白子地区・江島地区)

第7回まちづくり講座(2015.1.14)
・景観資源マップの発表
・景観まちづくりによる将来のまちのイメージの検討



江島地区の位置づけ

江島地区は鈴鹿市景観類型区分図によると、面的区分の「市街地」、景観類型の「海岸」「歴史的・文化的景観資源」に位置づけられています。

景観計画区域（行政区画）	
市街化区域	
鈴鹿市都市マスタープランに位置づけられた広域骨格軸及び都市構造上の骨格軸	
東海道、伊勢街道	

- 市の特性による面的区分
- 鈴鹿山脈及び山麓
 - 丘陵地
 - 平野部水田地
 - 里山水田地
 - 市街地

- 市の個性を彩る景観類型
- 〈軸〉
- 河川
 - 海岸
 - 幹線道路
- 〈拠点〉
- 緑の中心核(通称:セントラルグリーン)
 - 駅前商業地
 - 鈴鹿サーキット周辺
 - 歴史的・文化的景観資源
 - 眺望景観

(注)市の個性を彩る景観類型の内、河川、幹線道路、歴史的・文化的景観資源、眺望景観については、代表的な景観資源を表記



江島地区
鈴鹿市景観類型区分図 (出典:鈴鹿市景観計画)

江島地区の景観資源

景観資源を分析するためには、地区形成の歴史を把握し、地区の構成要素を分析する必要があります。これらの分析により、江島地区には大きく4つの特徴的な景観的まとまり(迷路のような古い町並みの景観的まとまり、寺社が集まる景観的まとまり、緑豊かな景観的まとまり、海岸沿いの景観的まとまり)が存在し、景観資源については、歴史・文化的景観資源、自然的景観資源、水辺の景観資源の3つに分けることができます。



歴史・文化的景観資源

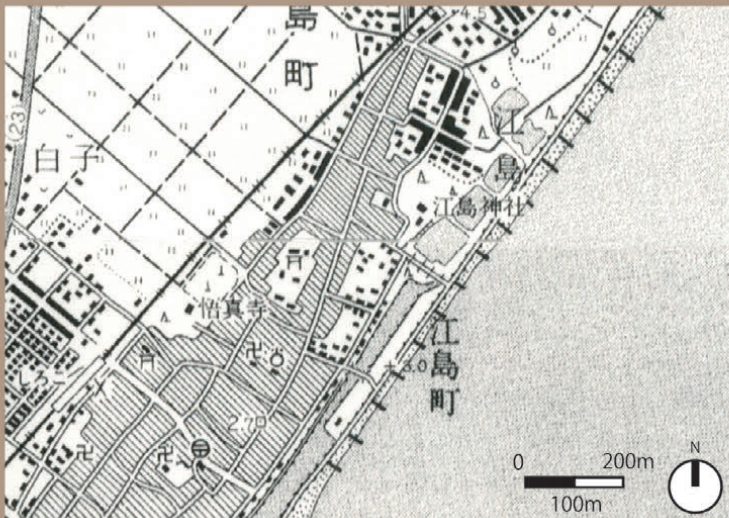


自然的景観資源



水辺の景観資源

都市形成の歴史



出典: 1/25000地形図「白子」(明治23年測量・昭和44年改測、昭和45年発行、国土地理院)
1/25000地形図「神戸」(明治23年測量・昭和44年改測、昭和46年発行、国土地理院)

昭和44年
(1969年)

昭和になると、海岸沿いの護岸整備が行われ、堤防、橋、江島若宮八幡神社に隣接する緑地などが設けられました。また、江島若宮八幡神社の北側に市街地が拡大している様子が分かります。



出典: 1/25000地形図「白子」(昭和44年改測・平成19年更新、平成19年発行、国土地理院)
1/25000地形図「鈴鹿」(昭和55年改測・平成19年更新、平成19年発行、国土地理院)

平成19年
(2007年)

平成になると、海沿いの道路や江島若宮八幡神社の南の道路が整備されました。また、鉄道の西側に市街地が拡大しています。



開発時期

■ 大正9年(1920年)
■ 大正10年～昭和44年
■ 昭和45年(1970年)～
■ 伊勢街道

伊勢街道沿いに形成された江島のまちは大正期から徐々に広がり、海岸沿いの田畑が市街地化している様子が分かります。

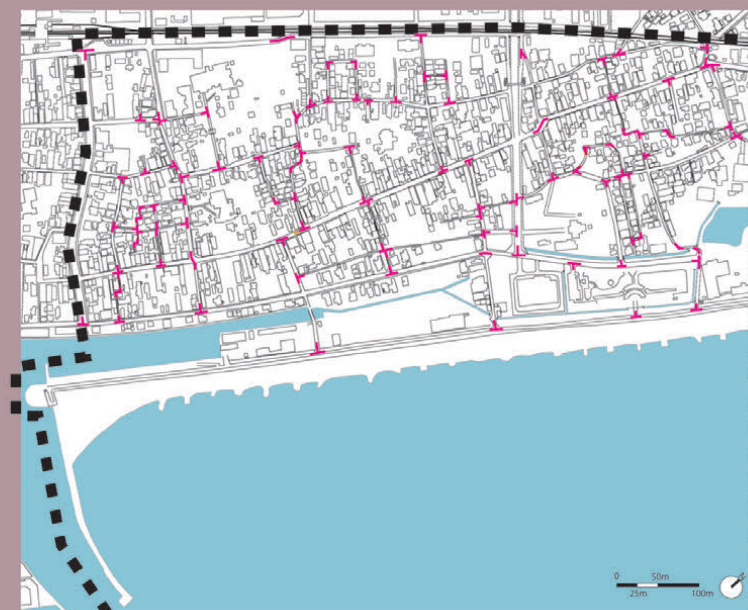
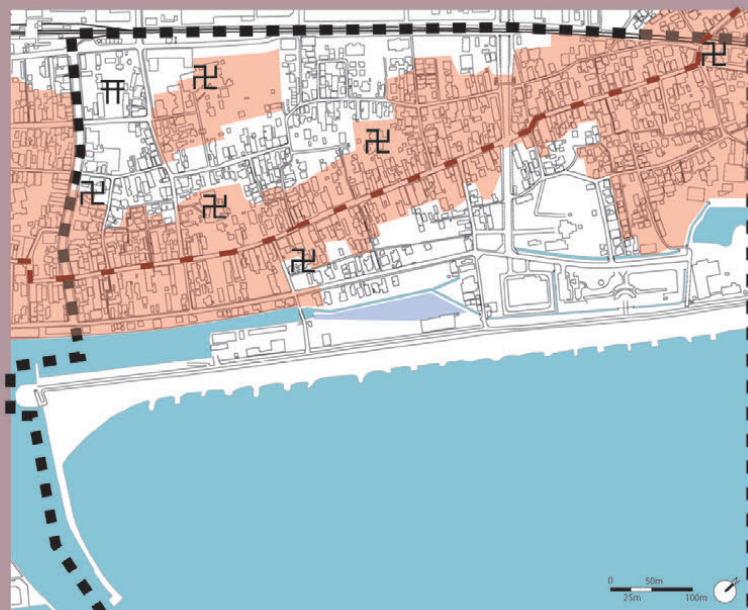


出典: 1/25000地形図「白子」(大正9年測図、大正11年印刷・発行、大日本帝国陸地測量部)
1/25000地形図「神戸」(大正9年測図、大正13年印刷・発行、大日本帝国陸地測量部)

大正9年
(1920年)

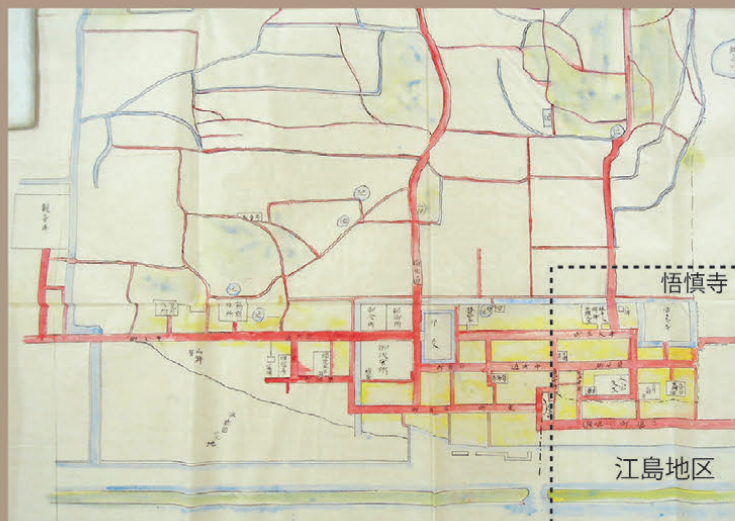
江島のまちは、鉄道・街道・海岸の3つの軸線に規定され、南北方向に細長く市街地が形成されていることが分かります。

都市の構成要素毎の分析



街路形態

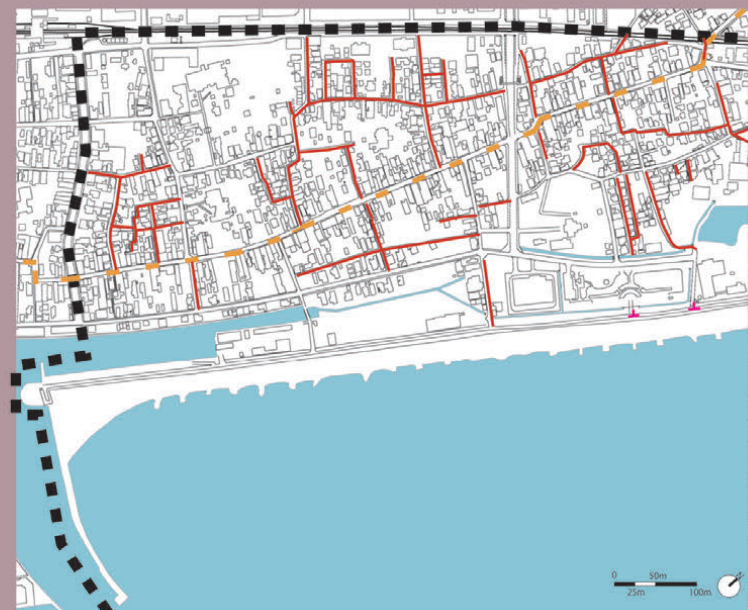
■ L字 ■ T字
江島のまちはL字やT字の街路形態が多く見られます。



三重県白子都市計画街路決定の件(昭和17年内務省告示第681号)付図(江戸期の絵図と思われる)

江戸期

江戸期の江島は隣町する白子と共に伊勢街道に沿ってまちが形成され地理的にも経済的にも、共に発展しましたが、白子は紀州藩、江島は旗本・小笠原藩領であり、統治は別でした。





悟愼寺



勝速日神社



元三大師



青龍寺



江島若宮八幡神社



歴史的建造物 * 1

- 寺社
- 蔵
- それ以外

歴史的建造物が集積するエリア

* 1 : 実際の建設年ではなく目視で概ね築50年を超えていると判断した建物を歴史的建造物として選定しました。
 * 2 : 建物の状態がよい、きれいに改修されている、歴史的価値が高いなどの理由で重要な歴史的建造物であるとまちづくり講座の中で検討した結果です。

開発時期

- 大正9年(1920年)以前
- 昭和44年(1969年)以前
- 昭和45年(1970年)以後

重要な * 2 歴史的建造物

伊勢街道

江島地区の歴史的建造物を見ると、伊勢街道とそれに平行する道路沿いの町家建築が特徴的です。一方で、迷路状の路地沿いにも歴史的建造物を見ることができます。また、平入りの屋根が多いことも特徴です。

歴史・文化的景観資源



ノコギリ型をした伊勢街道の歴史的な町並み



生垣と樹木で導かれる悟慎寺（歴1）



油屋忠兵衛伊達家（歴2）



入り組んだ路地



常夜燈（歴3）



元三大師（歴4）



景観を意識した建物



山の神の祠（歴7）



伝統文化を取り入れた建物



芙蓉館・勢松丸資料館（歴12）



白子の朝市（歴14）



鰻絵（歴5）



勝速日神社（歴6）



青龍寺（歴8）



美鈴屋（歴10）



江島若宮八幡神社（歴13）



道路沿いの六体地藏（歴15）



春の例大祭（撮影：板尾富司）



雲心院（歴9）



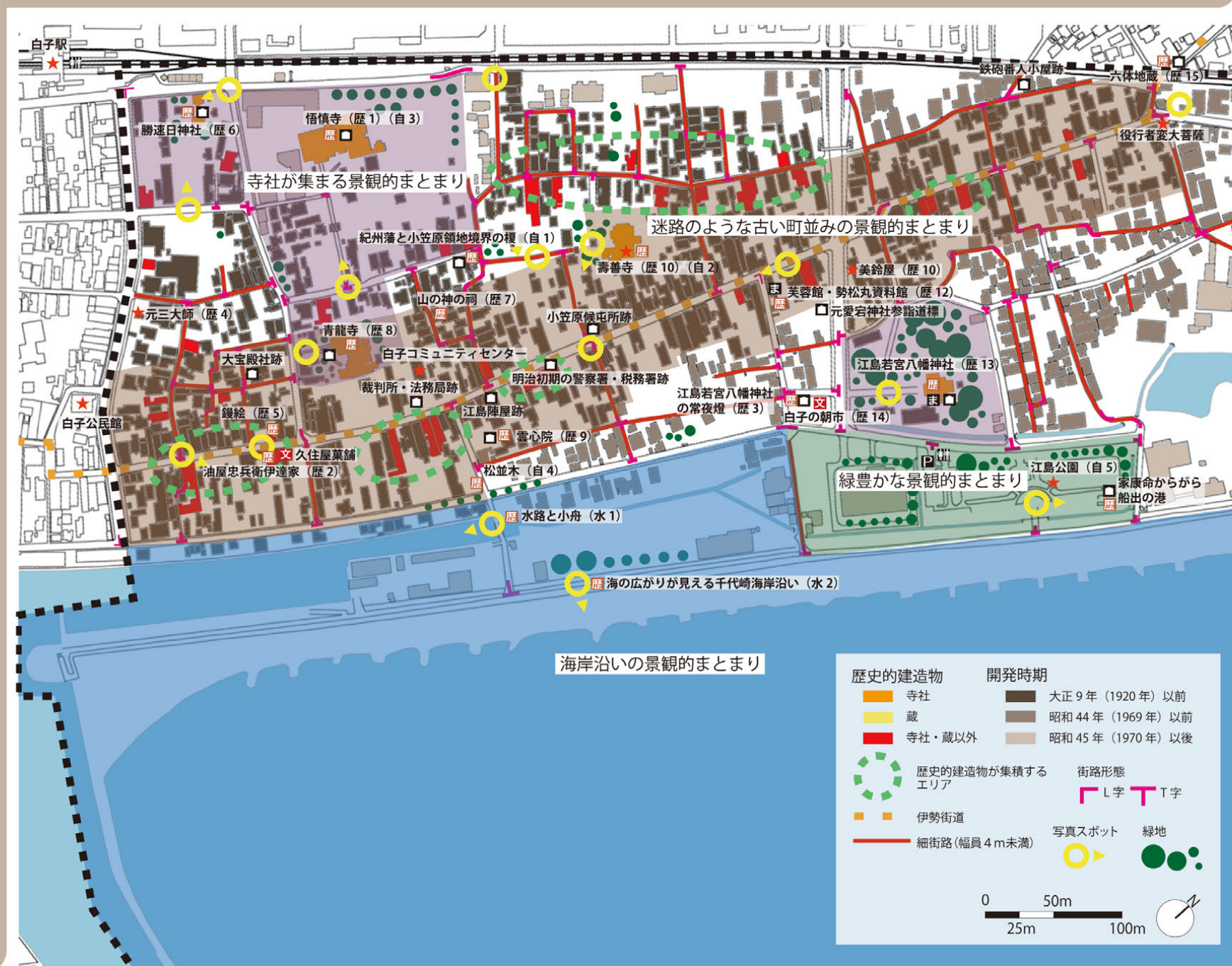
壽善寺（歴11）



江戸祭り(7月)（撮影：板尾富司）



地藏盆(8月)（撮影：板尾富司）



自然的景観資源



紀州藩と小笠原領地の境界の榎（自1）



壽善寺の百日紅（自2）



悟慎寺の境内・ソテツの木（自3）



松並木（自4）



江島公園（自5）

水辺的景観資源



商家へ荷物を運ぶ水路と小舟（水1）



海の広がりが見える千代崎海岸沿い（水2）

鈴鹿市江島地区の景観資源マップ

江島地区の景観資源マップ